

# 自然ミクロ観察

2026年度版

## ■自然ミクロ観察とは？

班ごとに分かれ敷地内を散策、そこで見つけた木や草の葉、花、落ちていたもの、虫などを持ってきて、双眼実体顕微鏡を使い、観察する。それが何であるか図鑑などで調べて、発表し合う。

ねらい 内容	単なる散策ではなく、拡大して見てみようという気持ちになると、景色を違った視点で観察することができる。 顕微鏡を使って拡大して観察することによって、今まで何気なく目にしていたものにも新たな発見があることに気づき、知的好奇心を育む。 この観察を通して、役割分担をしながら、班で調べ、発表することで協調性や仲間意識を高める。
対象	小学校高学年～大人
期間	3月～11月
人数	40名（双眼実体顕微鏡が6台なので、それを参考に班割り）
集合場所	自由
活動時間	1時間～2時間
活動場所	敷地内散策後、研修室等
持ち物	筆記用具、ビニール袋（採集用、筆記用具を濡らさないため） 雨天時：カッパや傘や長靴
貸出品	双眼実体顕微鏡
施設職員	説明： なし                      対応： なし 団体の指導者主体で実施してください。 貸出品が必要な場合は、職員までお申し出ください。
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 双眼実体顕微鏡はデリケートな精密機器なので、使い方に十分注意する。</li> <li>• 観察に必要なもの以外には、自然を傷つけないよう心掛ける</li> <li>• 雨天時の活動プログラムとして行う場合は、カッパや傘の用意する。</li> </ul>



双眼実体顕微鏡(倍率は×20)

### 指導者の支援活動

- 1 採集活動範囲の設定と確認
- 2 採集時間、観察時間の設定
- 3 時間管理と、人数チェック
- 4 双眼実体顕微鏡の使い方の指導
- 5 図鑑での調べ方のヒントや支援
- 6 総評、事後指導

### 子ども達の活動(班)

- 1 班ごとの計画と役割分担
- 2 採集状況の記録
- 3 正しい双眼実体顕微鏡の使い方
- 4 図鑑で調べる
- 5 発表

## ■活動展開例

### ①集合

- 人員確認
- 活動内容説明

### ②各班のミーティング

- どちらの方向へ行くか
- 時間やメモの係りを決める

### ③採集

- 班ごとそれぞれスタート
- 見つけたものの場所で状況のスケッチやメモをとる
- 決められた時間までに集合

### ④観察

- 双眼実体顕微鏡を使って観察
  - 図鑑で調べる
- ②から④を活動時間に合わせて繰り返す

### ○発表

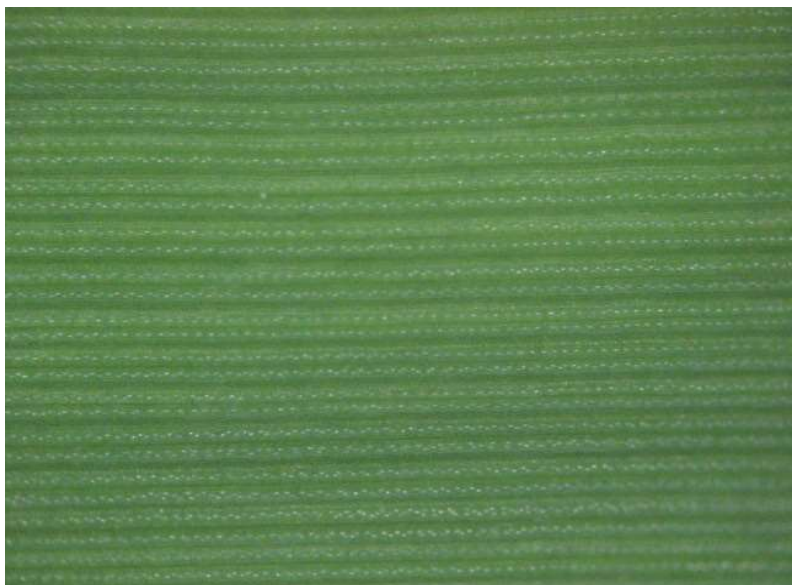
- 見つけたものについて発表
- 見せ合い
- 評価



タンポポの葉



アカツメクサの葉



カモガヤの葉



スギナの胞子体 (ツクシ)

資料別紙

自然ミクロ観察